

### 緊急持ち出しリスト

#### 【非常持ち出し品】

阪神・淡路大震災で実際に役立ったものを紹介します。

- ベスト20
  - ① 懐中電灯
  - ② 食料品（缶詰・乾パン・ビスケットなど調理不要なもの）
  - ③ ラップ
  - ④ ビニール袋
  - ⑤ 小型ラジオ
  - ⑥ トイレレットペーパー
  - ⑦ 乾電池
  - ⑧ ウエットティッシュ
  - ⑨ 手袋・軍手
  - ⑩ 小銭
  - ⑪ 使い捨てカイロ
  - ⑫ カセットコンロ
  - ⑬ 下着
  - ⑭ 常備薬
  - ⑮ 紙コップ
  - ⑯ 飲料水
  - ⑰ アルミ箔
  - ⑱ 紙皿
  - ⑳ 生理用品



### 地震の被害を最小限に食い止めるためには

地震災害では、多くの建物の倒壊のほか、道路や橋、電話・電気・水道などのライフラインも一斉に被害を受け、使用できなくなる予想されます。また、このような状況下での行政や消防の活動も大きく制限され、救助活動に支障をきたす恐れがあります。

被害を最小限に食い止めるためには、自分や家族の身は自ら守る「自助」、そして自分たちの地域は自分たちで守る「共助」の考えがとても重要になってきます。

### 災害が起こる前に備えよう！「自助」

自分や家族を守るためには、まず家の内外の安全確保が必要です。家庭での安全対策の主なものとしては、次の対策などがあります。

- 安全に避難できるように出入口付近に物を置かない。
- 家具などに転倒防止器具を取り付け、瓦やアンテナなど落下の危険性があるものは補強する。
- ブロック塀などは耐震状況を確認し、必要であれば補強工事を行う。

これらは、あくまでも一般的な安全対策です。日ごろから家族全員で

長雨による河川の増水にも警戒が必要で。

最近では、突発的な集中豪雨が全国各地で発生し、ごく短時間に災害にいたる場合も数多く報告されています。昨年10月に発生した台風18号では、市内にも多くの被害をもたらした。特に津山町横山地区では家屋の床上、床下浸水などの甚大な被害を受けました。

このような降雨災害の対策として、市では一つでも多くの情報をみなさんに提供するために、山間部を中心とした市内6ヶ所に雨量計を設置し、「登米市雨量監視システム」の運用を4月1日から開始しました。市のホームページで配信していますので、降雨の際にはぜひ活用ください。

### 訓練で「防災」をより身近なものに

地震についての知識や備えは、それを現場で生かす力があって初めて役に立ちます。自主防災組織による訓練や防災に関する勉強会を開催し、お互いの役割を確認し合うことで、ますます地域の結束力が深まり、有事の際には迅速な対応が可能になります。

「いざ」というときに備え適切に行動するために、みなさん自身が積極的に訓練などに参加し、「防災」を身近なものにしましょう。

災害について話し合う場を設け、避難ルートや避難場所の確認、お互いの連絡方法についてあらかじめ決めておくことが大切です。

### 地域を自分たちで守ろう！「共助」

各地の地震災害の際、被災地では隣近所の人命確認や被災状況の情報収集などを自主的に行った地区がありました。まさに、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」の取り組みです。その共助の取り組みについて、より具体的に活動内容や役割などを取り決め、組織化したものが「自主防災組織」です。

### 市内全地区で自主防災組織を結成

市内の自主防災組織の結成率は、平成22年3月31日で100%を達成し、現在では、それぞれの組織ごとに事業計画の策定や防災訓練などを実施して災害に備えています。自主防災組織が有事の際に、迅速かつ適切に行動するためには、定期的な訓練や話し合いを重ねることが必要です。

また、定期的な訓練や話し合いに加え、地域全体での交流など、互いに理解を深めておくことも、災害が発生した場合の備えの一つといえます。



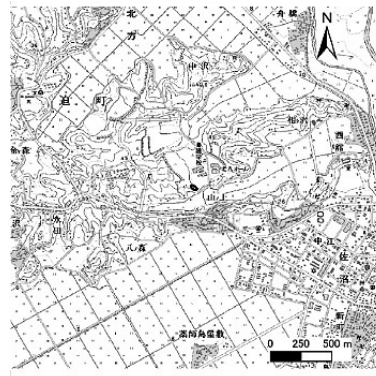
定期的に訓練を行い災害に備えましょう

### 土砂災害に対する防災対策も万全に

岩手・宮城内陸地震では、栗原市の荒砥沢ダム付近で国内最大級の地滑りが発生したほか、土石流などによって尊い命が失われました。また、道路やライフラインが寸断され、孤立した集落もありました。

この岩手・宮城内陸地震では地震に伴い土砂災害が発生しましたが、土砂災害の多くは降雨によるものがほとんどです。

毎年、梅雨の時期になると、全国各地で土石流やがけ崩れ、地滑りなどの災害が発生し、多くの被害を及ぼしています。国と県、市町村では毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、危険個所のパトロールや広報活動に取り組んでいます。これだけでは十分な対策とはいえませんが、これからの梅雨の時期、地震災害に加え土砂災害についても日ごろから次のことに注意しましょう。



概況図(S=1:25,000) 宮城県  
土砂災害警戒区域などが確認できます

- ハザードマップなどで自宅周辺の危険な個所や避難場所などを確認しておきましょう。
- 避難勧告や避難指示など避難するように呼び掛けがあったら、すぐに避難しましょう。
- 地域内では、お互いに日ごろから声を掛け合い、有事の際には一緒に避難しましょう。
- 前兆と思われる現象など、異常を感じたら早めに避難しましょう

登米市雨量監視システムの利用を開始  
これから降雨が頻繁になる梅雨の時期を迎えますが、土砂災害のほか

## 総合防災訓練を実施します

市では、高い確率で発生が予想されている宮城県沖地震に備え、総合防災訓練を実施します。各地区の会場でさまざまな訓練を実施しますので、いざというときのために積極的に参加しましょう。

なお、訓練に参加できない家庭においては、地震が発生したとき、最初に行う、身の安全確保や火の始末、脱出路の確保などの「1分間行動訓練」を各戸で実施してください。



▲▼昨年の訓練の様子



#### 【訓練会場】

地区	日時	会場
迫	6月13日(日) 9:30~	登米市消防防災センター
登米	6月13日(日) 9:00~	登米総合運動公園
東和	6月6日(日) 8:30~	東和総合運動公園
中田	6月13日(日) 7:30~	登米市立上沼小学校
豊里	6月6日(日) 8:30~	豊里花の公園(園内多目的広場)
米山	6月13日(日) 8:30~	吉田運動場
南方	6月13日(日) 8:30~	南方町鴻ノ木地内(ジャスコ南方店跡地)
石越	6月13日(日) 8:30~	石越総合運動公園
津山	6月5日(土) 8:30~	登米市立柳津小学校において「土砂災害訓練」と「総合防災訓練」を併せて実施

【問い合わせ】 総務部防災課 危機対策係 ☎ 0220 (22) 2130